

006のまりもです。お世話になっています。作成経緯を兼ねてプレゼンします。

課題文作成プレゼンテーション

いままでの国語力の中、2度課題文を作成しました。一度目は何をどうかいていいのかわかり分らず、過去問を先ず写し、時系列で見てどの課題のときどの文を利用しているのかを分析したことがあります。この作業が今回のコンペで生きた形になればいいなという思いがありました。

通常200㎡のような室はサイドに寄せ、そのあまったボリュームの中で脇役、コア、その他の部門を考えていくのが通常のように思っていましたので、あえて、今回の位置に配置をしています。課題文を多少考えながらの図面作成があったということです。

全ての条件をまず入れてみました。かなりのボリュームです。これ全てをつたえるとH15以上になりますし、解くのに辛くないです。どこを削るのが最初の難関でした。そのためには自分で解くことが一番手取り早く、最終的に今の形になったということです。ちょっと自分的にはミスったところもあるんですが、後になって気づくものですね。

自分にとって設計条件ってのは市長挨拶です。123は市長のこだわりです。今回はそこに、あらたな言葉を使わせていただきました。「~できるよう循環に配慮する」

「耐震展示部門」を核としてH12に利用している核を使うことで、ここがかなり重要なのだ!ということ。そしてその部門内で「来館者が自由に循環に配慮する」ということ。

来館者は、耐震実験をメインに来られている企業人、学生そして、一般市民。その方々が「自由に見学が出来るよう循環に配慮した計画」が図面に活かしているかを一番にみたいと思っています。

それにともない、
1、見学ギャラリーから「見下ろし」 各展示室等も見えるように計画する」
2、耐震展示ホールは「見学コースの一部として公開することがある」 各展示室への動線に配慮」

また、ホールから見学ギャラリーへの関係にも配慮する。という条件をつけることで、見学ギャラリーは大事に使ってもらいたいという思いを込めたつもりです。

3、一般展示室は「エントランスからアプローチする。」
これは「受付を済ませて、展示室のスター」がこの室を意味させるようにしたつもりです。

なので、特記事項に「実験の紹介」という文言を入れました。もちろん、展示の最初ではなくてもいいのですが、エントランスからの縛りがあるため、

見学できるように考えている方であれば、多分気づかれるだろうという思いがありました。

いろんなところで、どのように配慮すべきかを条件として記述した次第です。

さらには、「企業、学生が耐震診断を利用できる計画」と叫んだことで、プラザへの搬入動線は「優先順位の関係上そのリアリティを欠落させることができなくなり、車路を考えてのエスキスとなります。そうすることで、器を小さくせざるを得なくなり、耐震展示部門の階振りも考慮せざるを得なくなります。立体ゾーニングすることで、器に納めることができ、循環に配慮された計画となります。見学ギャラリーの各展示室等も見えるように計画する」を無視すれば、簡単に入りますが、設計趣旨の「核として施設全体」と有機的に構成された空間とは

言いがたくなることでしょう。

多分、条件を読み間違えたりしない限り、ほとんどの階振りは出来、ゾーニングされくれたプランが出来上がるでしょう。しかし私はそれ以上の展示機能の性格を読み取ってもらいたいということです。

よって「施設全体の大枠は、車路の配置、ホールとプラザの一体的利用、そして、けんがくギャラリーの配置。そして他部門とのつながり(地下ロビー)が出来ているか。そして、おとしどころは、括れている中での耐震展示部門内の循環に配慮」と考えています。これが出来ていれば、ランク1とさせていただきますつもりです。

また、修正させていただいたRC、S、Wの配置ですが、実験後の試験体の重さを考えてのことです。ちょっとリアリティを図面と課題文で表現したつもりです。またこれだけでは気づかれた方には簡単になると判断したため、パントリーとレストラン内厨房のDW動線を付け加えました。しかし、たいした優先順位ではありません。縦でくるものが存在しているんだ!と思わず程度のもです。

条件上考えられませんが、利用者の搬入動線を考えすぎてプラザが北にあるようなプランは「即失格図面です。ホールとプラザの一体的利用や、見学デッキの見落としも即失格図面です。また括れているけども、循環がなされていない場合はランク1降格です。」

以降、箇条書きにて書かせてもらいます。

プラザの面積にも仕掛けをしてみました。150以上とすることで、敷地の角に配置し、ホールを脇に寄せることで、共有部が大きくなりすぎるため空間の裁き方も見てみたいとおもっている次第です。このパターンは一応出来ています。別案もあるということです。ピク廊下でも合格されているあたり先考えて、地下ロビーを120以上とさせていただきます。

見学デッキに「一体に面するようにする」という条件をつけさせていただきました。一体的に利用するでもなく、一体化するでもなく、面するだけでもなく、「一体に面する」としました。この条件をどのように見られたのかも、見たいところでもあります。

見学ギャラリーの特記に実は、エントランスホールと重複してもよい。という特記が最初から入っていましたが、縛りがきつくなりすぎる可能性もあるかな?と思いましたのではずしました。

ちょっと課題文に子供じみたいたずらをしてみました。印刷されて分かれた方もいらっやると思いますが、敷地図の敷地が塗りつぶされています。ちょっと使いづらいですね。

長くなりましたが最後に、展示は見る人が存在して見学という行為をもってこそ、確立されるものだと思っています。その見学という行為が、建築を普及させればよいなという思いで、図面を作成しました。課題文にちょっと子供じみたいたずらをしてみました。印刷されて分かれた方もいらっやると思いますが、敷地図の敷地が塗りつぶされています。ちょっと使いづらいですね。

以上です。

審査のほどよろしく願います。